

第35期（第5回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：令和2年8月18日（火）15：00～16：30
2. 場 所：神戸市教育委員会事務局 教育委員会室
3. 出席者：
 - (1) 社会教育委員10名
 - (2) 事務局 工藤総務部長、東教育企画担当課長、安田課長（文化財課）、
鎌田担当課長（中央図書館）、山本学芸課長（博物館）、井関課長（文化交流課）
4. 開 会：教育企画担当課長
5. 挨拶：総務部長 新型コロナウイルス感染拡大防止対策について、神戸市における教育施設への現時点での影響を説明。委員の皆様への協力依頼。
6. 議事・報告事項：

（1）第35期第4回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料1により、前回の会議議事録（要旨）について説明

（議 長）質問、意見はあるか。

（委 員）特に質問、意見なし。

（2）令和2年度社会教育関係団体への補助金交付について

（事務局）資料2により、交付対象団体、活動の詳細、交付理由、金額について説明

（議 長）社会教育団体補助金について、これはひも付きではない。つまり、各活動について補助金を出すというスタイルではなく、団体の活動を総じて、社会教育を推進していく団体の維持・運営のために補助金を出すというスタイル。結果論的に大きな影響を神戸市の社会教育活動に及ぼしているということが見えていればよい。この両団体ともに大きな影響力を持っていると思うので、異存はない。しかし、補助金の金額は少ない。他都市と比べればこれでも多いほうだとはいうものの、そんな低い次元で比べていて良いものかと思う。

他に気になる点はあるか。

（委員全員）特に質問、意見なし

（議 長）なければ2団体への補助金交付については異議なしとする。

（3）社会教育施設における新型コロナウイルス感染症対策について

（事務局）資料3により、教育委員会事務局所管の社会教育施設における対策・対応について説明。（そのほかの施設については事業報告と併せて説明する。）

（議 長）これから先の方向性について、どういう基準の中ででどういった動きをするかというのは協議しているのか。

（事務局）まず国の通知があり、それを踏まえて神戸市全体としての方針がある。基本的にはそれに沿ってやっていく。また、各業界ごと（バレーボールやダンス等）のガイドラインというのもある。それも参考にしながらやっていく。ただ今後どうなっていくか分からない。その都度状況に応じて神戸市全体の方針も見ながら、また個別の事情も鑑みながら考えていくことになると思う。現段階で明確にこの場合は

こうするといったことは協議していない。

(議長) なぜこのような質問をしたかという、不要不急ではない、つまり必要で優先順位の高い活動は、国も自治体も徐々に緩和していつている状況で、この「社会教育施設」がどういった活動をする空間なのか、各自治体の認識によっては、何時まで経っても開かない状態になるのではないかと懸念しているからである。結果的に行政改革で出てくる指標(利用者が少なくコストパフォーマンスが悪い)のもと、縮小していくという流れに乗り、この2、3年のうちに閉鎖の憂き目にあうのではないかと、そういう方向性を危惧した時に我々は社会教育施設の必要性をいつでもアピールできるよう、整理しておく必要がある。事務局側も社会教育行政の縮小に対する防御策を何か講じていたりするのか。

(事務局) コロナウィルスが要因の利用者数減が施設の閉鎖につながるというのは想定していない。

(議長) この1年でどうこうはならないと思うが、空間距離感を持ってやっていくというのが恒常化したら、これまでの社会教育施設の在り方と根本的に違うものと考えていかなければいけない。もし現在の施設利用者の定員数が定着すれば、コストパフォーマンスは恒常的に悪くなり、施設の必要性を疑問視されることに繋がりがねないと危惧する。

(事務局) おっしゃることはよくわかる。科学館等の利用者数、利用方法に制限を設けている施設は、新しい技術(AR等)を積極的に導入しているところである。公民館や婦人会館は換気や消毒といった感染症対策を徹底的に講じることで、それほど大きな利用制限をかけずに運営しているところである。

(議長) 現状それしかないと思う。しかし施設利用者減が恒常化した時に、市行政がどういう立場をとるか、民間に払い下げるといった方法を(市行政は)これまで取ってきたので、どこにしわ寄せが来るかを考えると恐怖である。

その他、何か意見はあるか。

(辻委員) 私は、資料3、8ページの上段記載「青少年会館」の館長をしているので、この施設に関する開館状況を報告をこの場を借りて報告したい。

6月1日より開館しているが、初日は全く来館者がなく想定外であった。やはり三宮の駅前という立地のせいで、密を回避する心理が利用者に働いたものと考えられる。落下物防止のため数十年開けてこなかった窓を、密回避のためこじ開け、開館準備をした。音楽室の使用やフォークダンスの集まりは8月から可能とした。追跡のための作戦として、登録カードを導入。連絡先と利用日時を利用者に記載願った。施設の使用は3時間と定めた。利用者数は通常時の約半数で推移している。

(議長) 夏場で熱中症対策もしないといけない中で、施設利用の際は窓を開けて空調をかけている状態だと思う。また消毒についても潔癖といえるほど徹底していることと思う。現状コロナ感染症対策は予防というスタイルでしかできていない。この状況がずっと続くと大変なことになる。どこかで発想の転換が必要。社会教

育施設に対する評価基準を、利用者数やコストパフォーマンスだけではなく、活動内容や質でも評価してもらえるようにする。そのためには証言できる人が必要。

(4) その他

① 埋蔵文化財センター事業報告

(事務局) 資料3 (P10) により、文化財課所管の文化財の公開等に係る新型コロナウイルス感染症対策について説明後、埋蔵文化財センター事業報告について説明。
(議長) 質問、意見はあるか。

(花岡委員) 指定管理者制度を導入されている施設(風見鶏、ラインの館)について、こういう状況下での指定管理者との契約はどうなっているのか。

(事務局) 当初の契約通りすすめている。幸い入場料金を指定管理料に充当しているのではなく、管理料として定額を支払っているので、入場料による管理業者の収入減はない。ただ、管理業者は売店収入によって利益を得ているところがあるので、その部分に関しては減収ということになる。

(議長) 指定管理者が雇っている、非常勤の雇用はなくなっているのか。

(事務局) 休館中は休業補償をもらいながら休業してもらっている。

② 博物館事業報告

(事務局) 資料3 (P11) により、博物館・美術館における新型コロナウイルス感染症対策について説明後、資料3 (P12、13) により、博物館事業報告について説明。

(議長) 大きな展覧会を企画する際、実行委員会形式をとる必要があると伺ったが、財源をマスメディア等が出資するということはあるのか。

(事務局) 共催という形で、マスコミと神戸市が出資するということはある。大きな企画はマスコミ側からの持ち込みが多い。当たり前だが企画の内容によって出資額は変わる。

(花岡委員) 入場者数が当初より見込めないということになると、企画がなくなる可能性があるのではないか。

(事務局) マスコミ側がどう判断するかはわからない。入場者云々の前にまず、展示物が海外から日本に入ってくるのかという問題がある。入ってこなければ企画自体が成り立たない。

(花岡委員) 東京では導入されている事前予約制度の導入は難しいのか。

(事務局) システムの導入、受け入れ側の体制さえ整えば、やれると思う。

皆が興味のある展覧会を企画し楽しんでいただくことが博物館事業の魅力だと思うので、この状況下でもそれが失われないように手立てを考えていかなければと思う。

(議長) 後手後手にまわらないよう、例えば博物館の応援団を今のうちに発掘しておくなど、打てる手を打っていかないとどうにもならなくなる気がする。結果的に受益者負担がすすみ、お金持ちしか見れないという事態にならないよう先手を打っていただきたい。

② 図書館事業報告

(事務局) 資料3 (P14) により、図書館における新型コロナウイルス感染症対策について説明後、別紙資料により、図書館事業報告について説明。

(花岡委員) 返却されてきた図書について、何かコロナ対策はしているのか。

(事務局) 紙をアルコール消毒することはできないので、基本何もしていない。別の自治体で、返却本を3日間置いておく試みをしたところがあるが、1日の利用者数が2000人を超える図書館では、置き場所の確保等問題がありできない。

(花岡委員) 今年度末開館予定の名谷図書館について休館日を火曜日にしたのはなぜか。

(事務局) これまで年1回のアンケート調査で、市内すべての図書館の休館日が同じ曜日なのはいかなものかという意見が多く寄せられてきた。システムの運営保守の関係で、すべての館が休館となる日を確保する必要があるのだが、この度それが月に1回で調整可能となったため、新しくできる図書館の休館日を火曜日に設定した。現時点では他の館に休館日の変更を広めていく予定はない。

(議長) 他に質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(議長) 本日の議題はすべて終了したが、本会議が第35期委員の任期内最後の会となるため、退任される委員4名にご挨拶いただきたい。

(委員4名) 挨拶

6. 閉会：教育企画担当課長

【以上】